【Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能運用開始までの流れ】

Ver.2.00

自然にやさしいネットワーク

JWNET
Japan Waste Network.

2023年10月

公益財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター
電子マニフェストセンター

目 次

１．Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能運用開始までの流れ

⑴ Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能　利用事前準備

⑵ Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能　利用申込の流れ

⑶ デモシステムの利用

⑷ 運用規程集及び各種申込書類等

⑸ 各種コード表

⑹ その他

２．Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能の運用について（※）

⑴ 送受信Ｂｏｘの作成

⑵ 送受信Ｂｏｘの削除

⑶ Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能の利用方法

⑷ 利用環境

３．問題発生時の対応

※使用するJavaにより手順が異なります。それぞれの手順をご参照ください。
２．Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能の運用について（オラクル社が提供する「Java8」（Java SE 8（8u211 以降））を使用する場合）
２．Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能の運用について（オラクル社以外の無償「Java8」（Eclipse Temurin + IcedTea-Web）を使用する

１．Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能運用開始の流れ

（1）Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能 利用事前準備

【 準 備 】

Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能 利用申込者	「ＥＤＩ方式接続仕様書」に基づいてＥＤＩ方式を設計・構築し、社内での検証を完了してください。	※ 「ＥＤＩ方式接続仕様書」及び「Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能利用細則」を（4）利用細則・各種申込様式等に記載されたページより入手してください。

JWセンターホームページのWeb-EDI機能「**ご利用にあたっての前提条件**」をご確認頂き、使用するJavaをご選択ください。

Javaの選択	オラクル社が提供する「Java8」を使用する場合は、オラクル社から有償のライセンス（Java SE Universal Subscription）をご購入ください。	※ Web-EDI機能は、Java Web Startの技術を用いてファイル送受信しています。 Java Web Startの技術を提供しているオラクル社の「Java8」またはオラクル社以外の無償「Java8」（Eclipse Temurin + IcedTea-Web）をインストールする必要があります。 オラクル社が提供する「Java8」を使用する場合、オラクル社の有償のライセンス（Java SE Universal Subscription）を個別に購入いただく必要があります。 ライセンスの購入については、オラクル社から加入者ご自身で購入してください。 ライセンスの購入方法についてはオラクル社へ直接お問合せください。 ライセンス購入後、電子マニフェストセンターへWeb-EDI機能の利用申込をしてください。

（2）Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能 利用申込の流れ

【 利用申込 】

Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能 利用申込者	「Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能利用申込書（様式_ＷＥ-01号）」の必要事項を全てご記入の上、［押印］し郵送してください。	※ 「Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能利用申込書（様式_ＷＥ-01号）」を（4）利用細則・各種申込様式等の③Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能の各種申込書類に記載されたページより入手してください。 ※ 申込書には必ず押印を行ってください。 ※ 送付先 住所 〒110-0005 東京都台東区上野三丁目24番6号 上野フロンティアタワー13階 宛名 公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター 電子マニフェストセンター 情報サービス部 宛
電子マニフェスト センター	「Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能利用申込書（様式_ＷＥ-01号）」の記載内容を確認し、利用に必要な資料等を発行、送付及びメール送信します。	※ Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能の利用に必要な資料等を申込書記載の「事務担当者」宛に郵送、メール送信いたします。（手続きに１0営業日程度かかります。） <郵送物> ① Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能 利用証 <メール> ①【JWNET】EDI方式利用申込完了のお知らせ ②【JWNET】 Web-EDI機能 デモシステム利用のお知らせ（その１、２）
Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能 利用申込者	デモシステムの利用に必要な資料等を確認し、デモシステムで運用を確認してください。 【確認内容（例）】 ・正常にファイル送受信ができる。 ・ファイル構成を理解し、必要な情報を送受信できる。 ・自社の運用に沿った形でＷｅｂ－ＥＤＩ機能を利用できる。	※ Web-EDIデモシステムの利用可能期限はメール「【JWNET】 Web-EDI機能 デモシステム利用のお知らせ（その２）」をご確認ください。
Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能 利用申込者	デモシステムでの運用確認後、本番開始のための資料等必要書類を確認し運用を開始してください。	

(3) デモシステムの利用（任意）　※初回以降

【　デモ利用　】

Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能 利用者	「Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能デモシステム利用申込書（様式_ＷＥ-06号）」の必要事項を全てご記入の上、［押印］し郵送してください。	※　「Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能デモシステム利用申込書（様式_ＷＥ-06号）」を（4）利用細則・各種申込様式等の③Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能の各種申込書類に記載されたページより入手してください。 ※　申込書には必ず押印を行ってください。 ※　送付先　住所　〒110-0005　東京都台東区上野三丁目24番6号　上野フロンティアタワー13階 宛名　公益財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター　電子マニフェストセンター　情報サービス部 宛
電子マニフェスト センター	「Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能デモシステム利用申込書」の記載内容を確認し、利用に必要な資料等を発行、送付及びメール送信します。	※　Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能のデモシステム利用のための必要情報を申込書記載の「事務担当者メールアドレス」に送信いたします。（手続きに１０営業日程度かかります。） <メール> ①【JWNET】　Web-EDI機能　デモシステム利用のお知らせ（その１、２）
Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能 利用者	デモシステムの利用に必要な資料等を確認し、デモシステムで運用確認してください。	※　Web-EDIデモシステムの利用可能期限はメール「【JWNET】　Web-EDI機能　デモシステム利用のお知らせ（その２）」をご確認ください。

(4) 利用細則・各種申込様式等

① 「ＥＤＩ方式接続仕様書」　（ホームページ　：https://www.jwnet.or.jp/jwnet/practice/info/edi/system.html）

② 「Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能利用細則」　（ホームページ　：https://www.jwnet.or.jp/jwnet/practice/info/web-edi/index.html）

③ Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能の各種申込書類　（ホームページ　：https://www.jwnet.or.jp/jwnet/practice/info/web-edi/index.html）

- ･様式_ＷＥ-01号：Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能利用申込書
- ･様式_ＷＥ-02号：Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能利用情報変更申込書
- ･様式_ＷＥ-03号：Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能利用停止申込書
- ･様式_ＷＥ-04号：Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能利用証等再交付申込書
- ･様式_ＷＥ-05号：Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能マニフェスト照会機能利用申込書
- ･様式_ＷＥ-06号：Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能デモシステム利用申込書

④ Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能-照会回答票　（ホームページ　：https://www.jwnet.or.jp/jwnet/practice/info/web-edi/index.html）

(5) 各種コード表

① 電子マニフェストシステム各種コード表　（ホームページ　：https://www.jwnet.or.jp/jwnet/manual/guide/data/index.html）

② 郵便番号

郵便番号辞書は、日本郵便（郵便事業（株））のホームページの「住所の郵便番号」をダウンロードしてご使用ください。

(6) その他

① Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能利用の登録内容に変更が生じた場合は、変更届出書を記載し、遅滞なく電子マニフェストセンターへ提出すること。

② Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能の運用及び仕様書の確認等の問合せは、照会票で行ってください。

照会票の雛形は（4）利用細則・各種申込様式等の④Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能-照会回答票に記載されたページより入手してください。

照会票は、ＥＤＩサポート【メールアドレス（E-Mail　：edi-support@jwnet.or.jp）】まで送信してください。

２．Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能の運用について（<u>オラクル社が提供する「Java8」（Java SE 8（8u211 以降））を使用する場合</u>）

（１）送受信Boxの作成

※本手順は、セキュリティに係る内容を含んでおります。手順を実行する際は、必ず社内のセキュリティ担当者にもご確認ください。

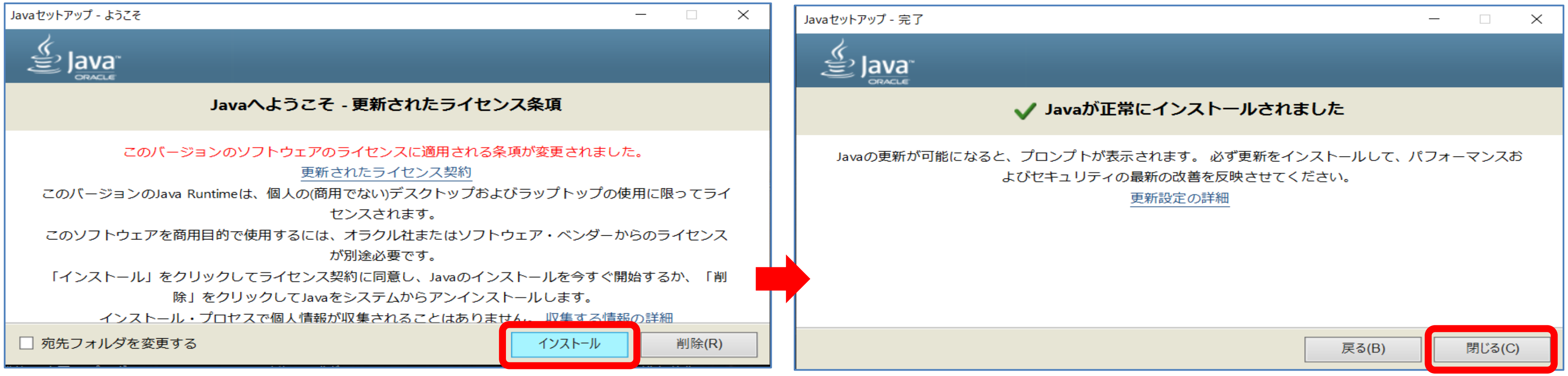
Web-EDI機能を利用する加入者は、下記の手順に従い、利用するPCにオラクル社が提供するJava8の最新バージョンをインストールしてください。

①下記サイトにアクセスする。（※画面が異なったり、アドレスが変更される可能性があります。）
http://www.java.com/ja/download/
「Download Java」をクリックする。

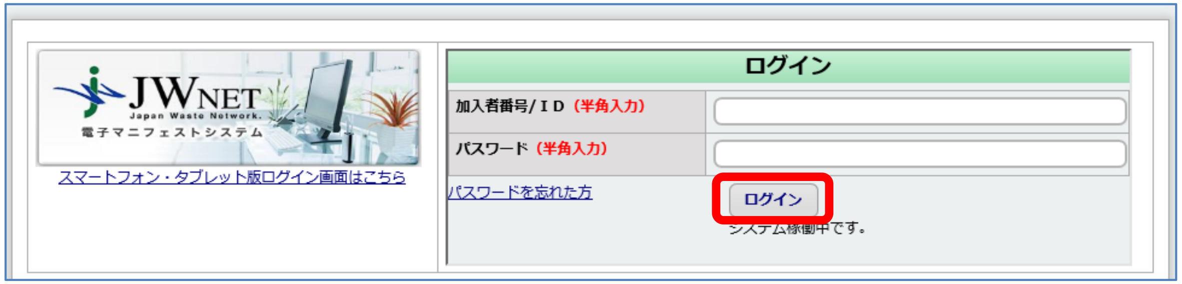
②ライセンスについてよく確認の上、「Javaのダウンロード」をクリックする。

④ダウンロードした.exeをクリックする。

⑤「インストール」をクリックする。



⑥Web方式にログイン
加入者番号／ＩＤ及びパスワードを入力しログインボタンをクリックする。

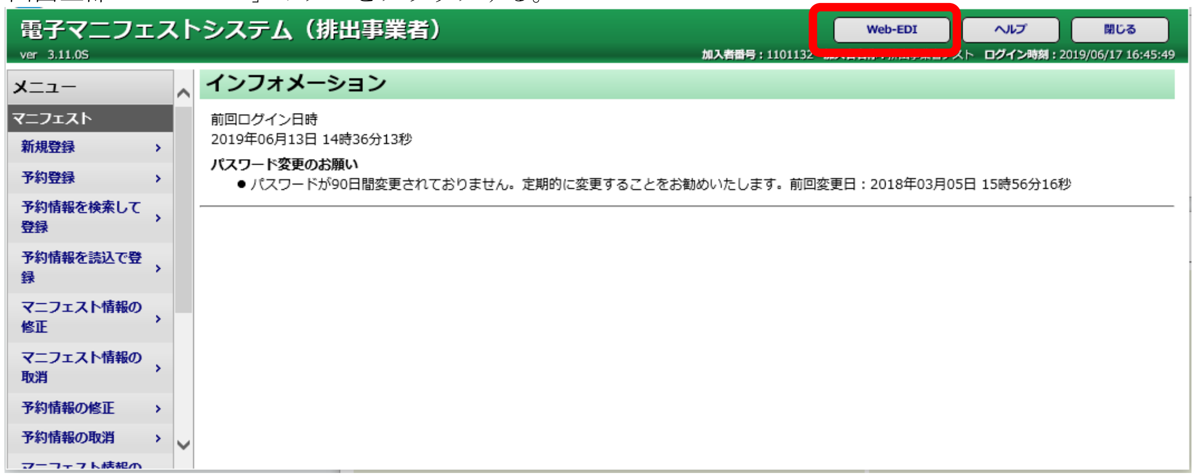


⑦メニューの選択

JWNETポータル画面のメニューにある「マニフェスト管理（登録・設定・通知）」、「行政報告」、「Web-EDI」のいずれかをクリックする。

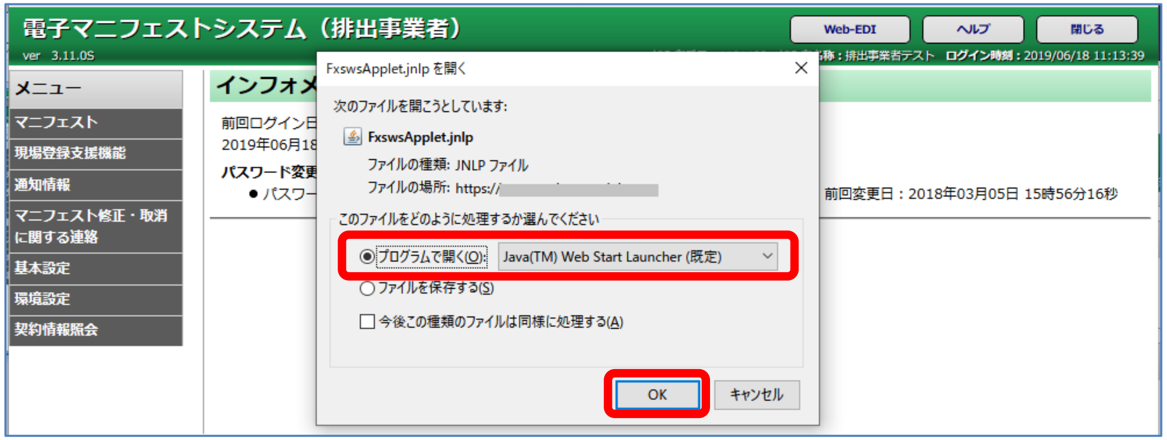
⑧Web-EDI機能の起動

画面上部の「Web-EDI」ボタンをクリックする。

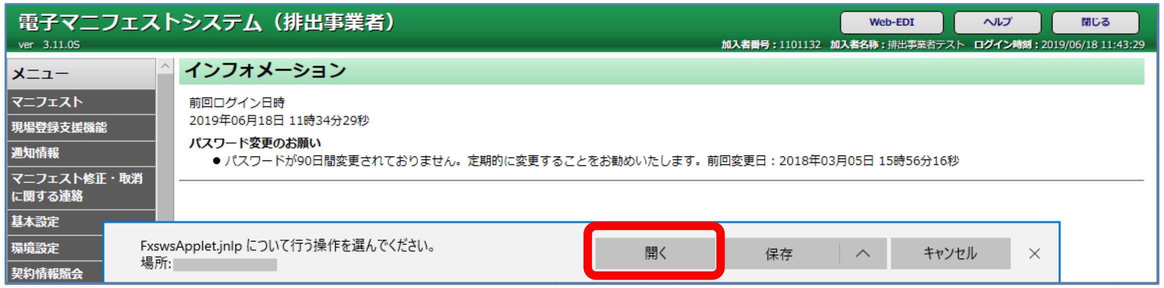


⑨Web-EDI機能の起動確認のポップアップメッセージについて
　各ブラウザにより、以下のように挙動が異なります。

■Firefoxの場合
「プログラムで開く」を選んでいる状態で「OK」ボタンをクリックする。

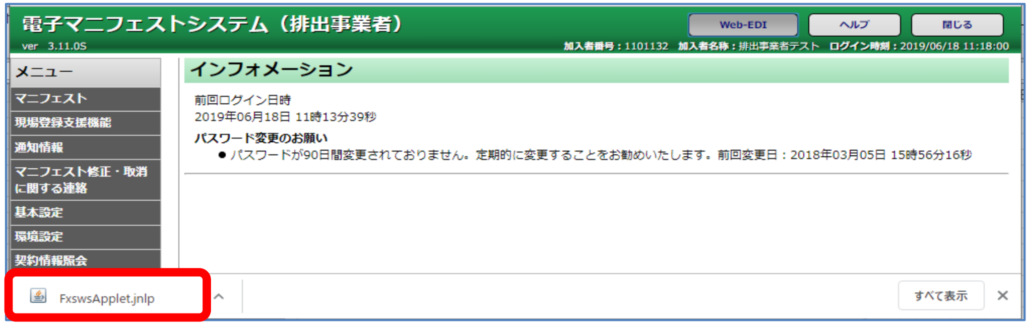


■Edgeの場合
画面下部に表示された操作メニューの「開く」をクリックする。



■Google Chromeの場合
　画面下部に表示された操作メニューの「保存」をクリックする。

　保存完了後、表示が「FxswsApplet.jnlp」のアイコンに変わったら、クリックする。

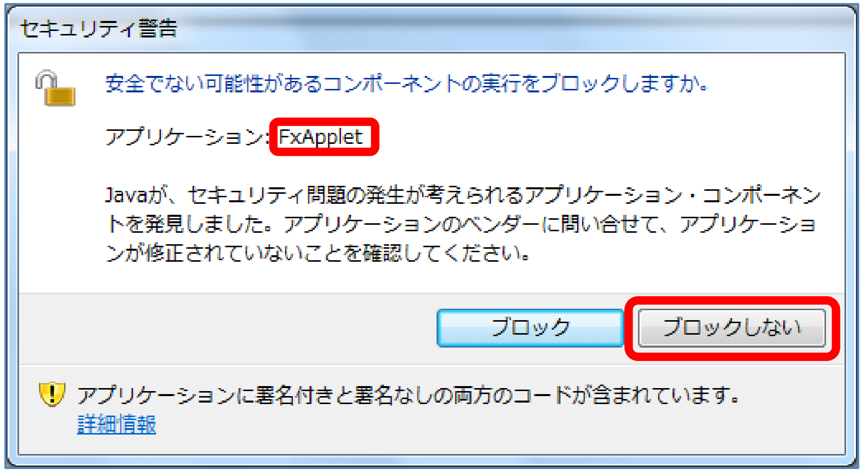


⑩セキュリティ警告について

下記のセキュリティを警告をするポップアップが表示された場合は、「続行」ボタンをクリックする。

下記のセキュリティを警告をするポップアップが表示された場合は、

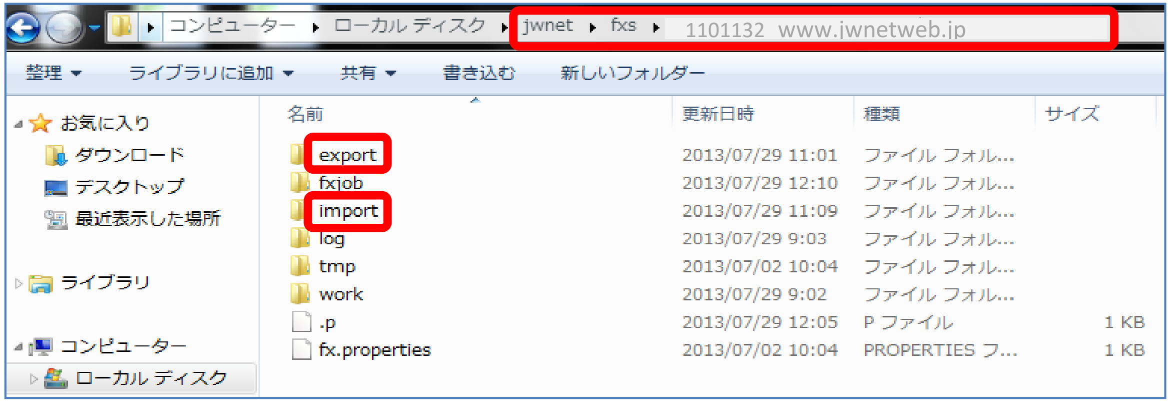
アプリケーション名が「FxApplet」となっていることを確認し、「ブロックしない」ボタンをクリックする。



⑪Web-EDI機能の実行
Web-EDIの実行確認画面が表示されたら、「実行」ボタンをクリックする。

⑫加入者の利用するPCの下記のディレクトリに、送信Box及び受信Boxが自動的に作成される。

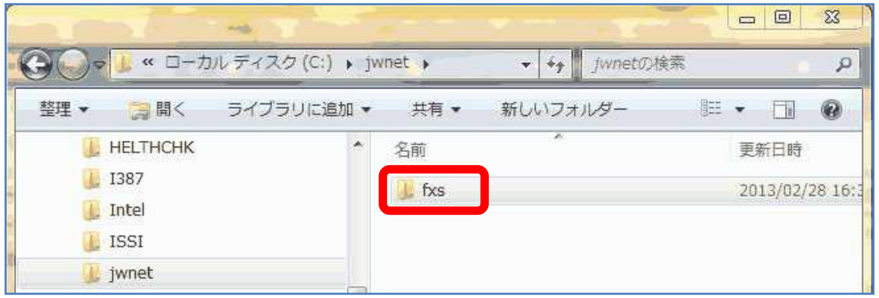
送信Boxのディレクトリ：c:¥jwnet¥fxs¥加入者番号_www.jwnetweb.jp¥export
受信Boxのディレクトリ：c:¥jwnet¥fxs¥加入者番号_www.jwnetweb.jp¥import



（２）送受信Boxの削除

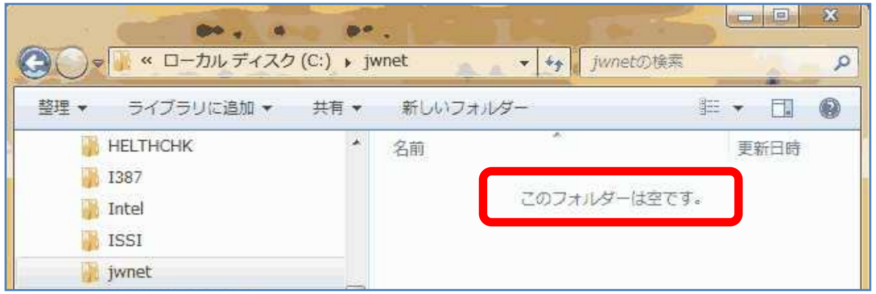
Web-EDI機能の利用を停止した加入者は、下記の手順に従い、送受信Boxを手動削除してください。

①エクスプローラーを起動し、コンピューター ＞ C:¥jwnetを開く。fxsを選択し削除する。



②「はい」をクリックする。

③ディレクトリーが削除されたことを確認する。

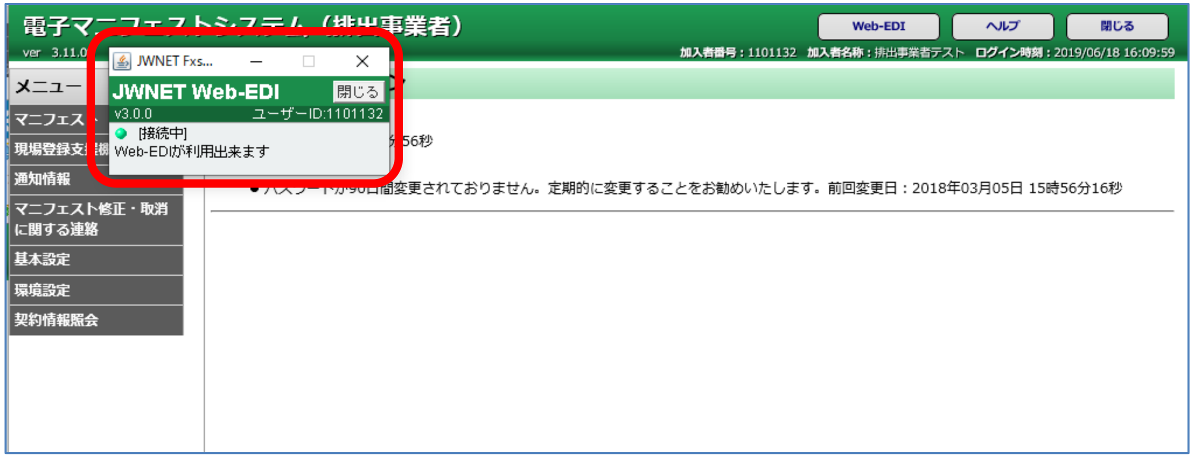


（３）Web-EDI機能の利用方法

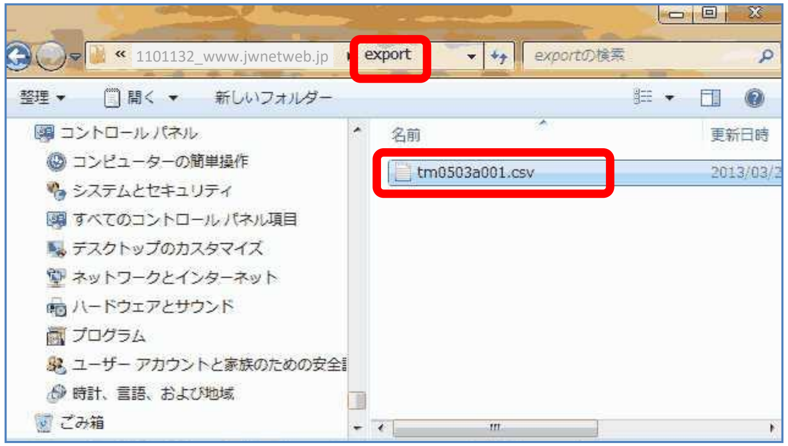
※初回利用の前に、必ず「（１）送受信Boxの作成」の①～⑫を行ってください。

①Web方式にログインし、Web-EDI機能を起動します。

以下の画面が表示され、「Web-EDIが利用できます」と表示されている間はWeb-EDI機能が利用できる状態です。

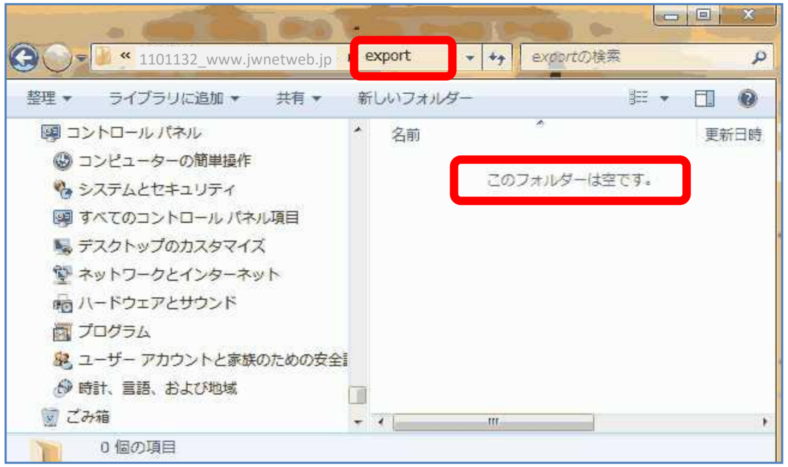


②要求ファイルを送信Boxに格納します。



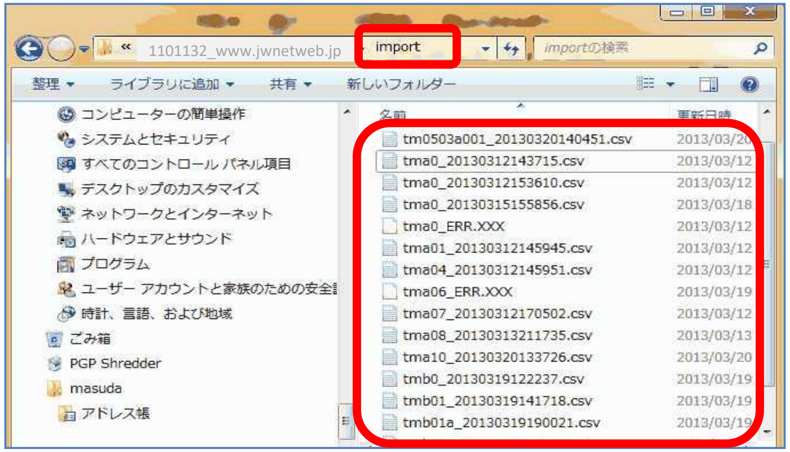
③要求ファイルが自動的にJWセンターに送信されます。

送信は約30秒間隔で実施されます。
送信が行われると、要求ファイルは自動的に送信Boxから削除されます。



④要求ファイルの処理状況の確認は、EDI方式接続仕様書「7-3-2.Web-EDI機能処理状況の照会」を参照してください。

⑤JWセンターで要求ファイルの処理が完了した後、結果ファイルが自動的に受信Boxに受信されるので、内容を確認してください。



（４）利用環境

①Web-EDI機能の動作確認環境は、JWセンターホームページのWeb-EDI機能「利用環境」をご参照ください。

②Web-EDI機能は加入者サブ番号での利用はできません。

２．Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能の運用について（オラクル社以外の無償「Java8」（Eclipse Temurin + IcedTea-Web）を使用する場合）

（１）送受信Boxの作成

※本手順は、セキュリティに係る内容を含んでおります。手順を実行する際は、必ず社内のセキュリティ担当者にもご確認ください。

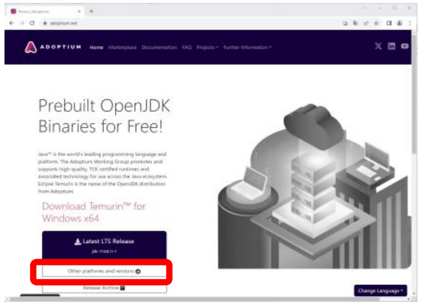
Web-EDI機能を利用する加入者は、下記の手順に従い、利用するPCにオラクル社以外の無償「Java8」（Eclipse Temurin + IcedTea-Web）をインストールしてください。

Eclipse Temurinインストール

①下記サイトにアクセスする。（※画面が異なったり、アドレスが変更される可能性があります。）

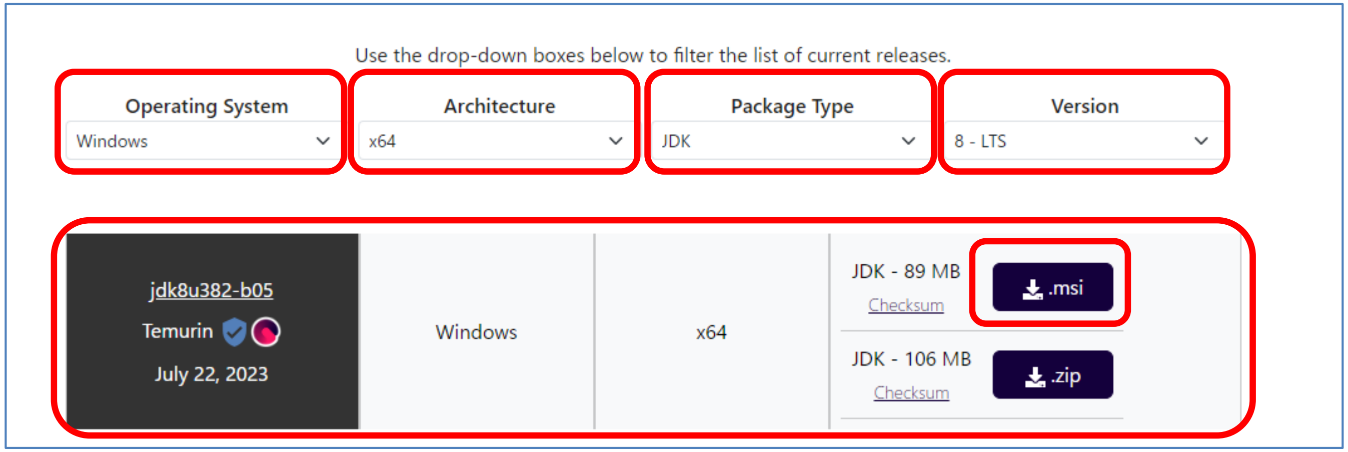
https://adoptium.net/

「Other platforms and versions」をクリックする。



②インストールするOSやバージョン等を選択して、表示されたjdk8uXXX-XXX（※）の「msi」をクリックする。

※画面表示バージョンは2023/10/16現在。

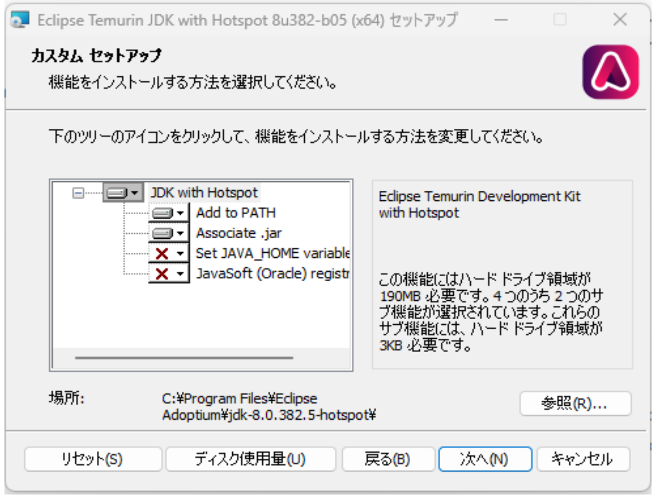


以下を選択する。
Operating System：**Windows**
Architecture：**x64**
Package Type：**JDK**
Version：**8-LTS**

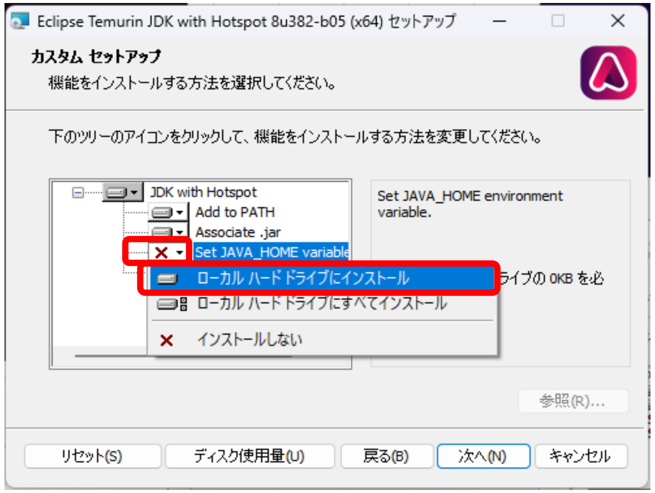
③ダウンロードした.msiをクリックする。

④「次へ」をクリックする。

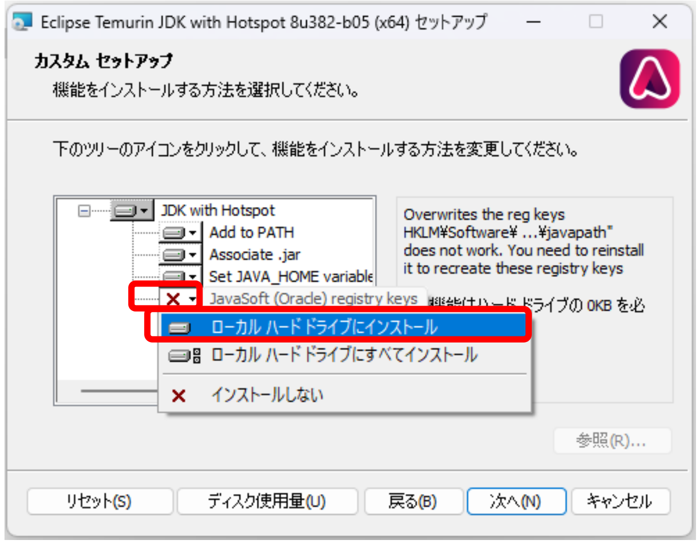
⑤カスタムセットアップが開きます。



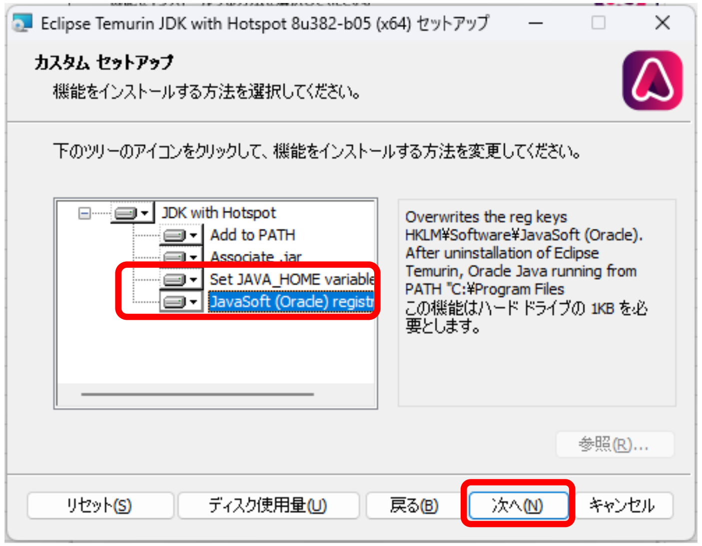
⑥「Set JAVA_HOME variable」の×をクリックして、「ローカルハードドライブにインストール」を選択する。



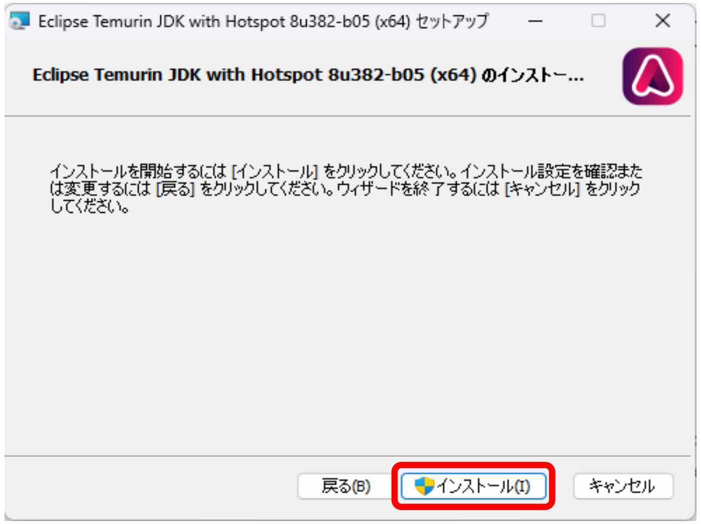
⑦「JavaSoft(Oracle)registry keys」の×をクリックして、「ローカルハードドライブにインストール」を選択する。



⑧×印が無いことを確認して、「次へ」をクリックする。



⑨「インストール」をクリックする。



※「インストール」ボタンをクリック後、『このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？』と表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

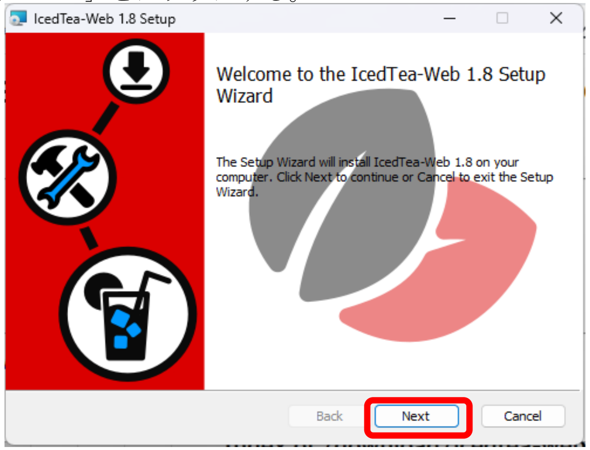
⑩「完了」をクリックして、Eclipse Temurinのインストールは完了です。

IcedTea-Webインストール

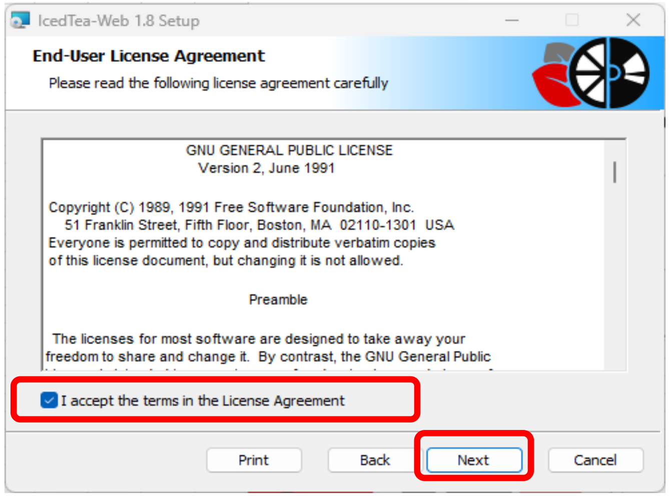
⑪下記サイトにアクセスする。（※画面が異なったり、アドレスが変更される可能性があります。）
https://icedtea.classpath.org/download/icedtea-web-binaries/1.8/windows/
「itw-installer.msi」をクリックする。

⑫ダウンロードした.msiをクリックする。

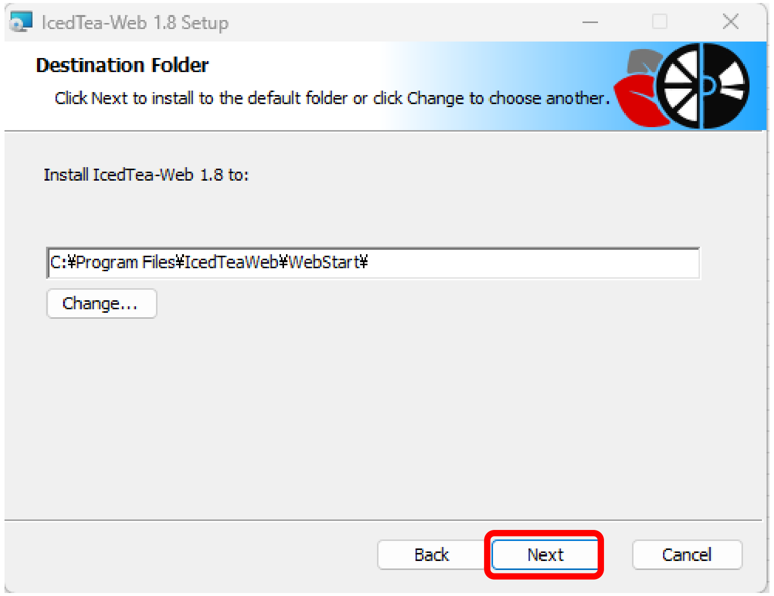
⑬「Next」をクリックする。



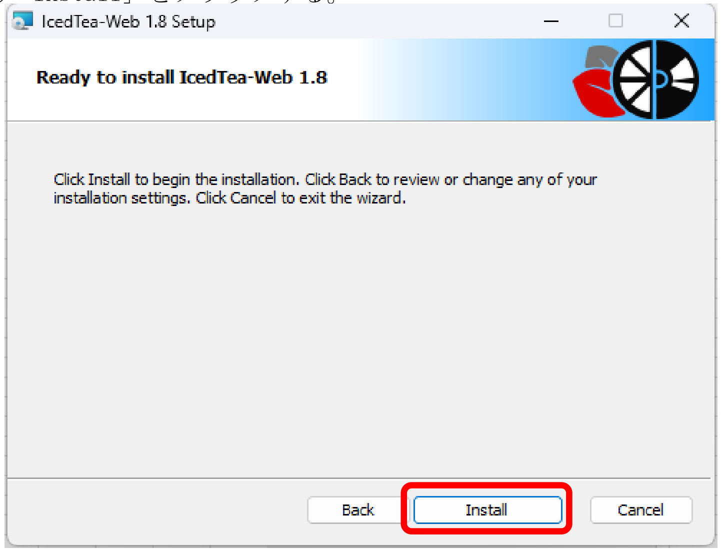
⑭「I accept the terms in the License Agreement」にチェックを入れ、「Next」をクリックする。



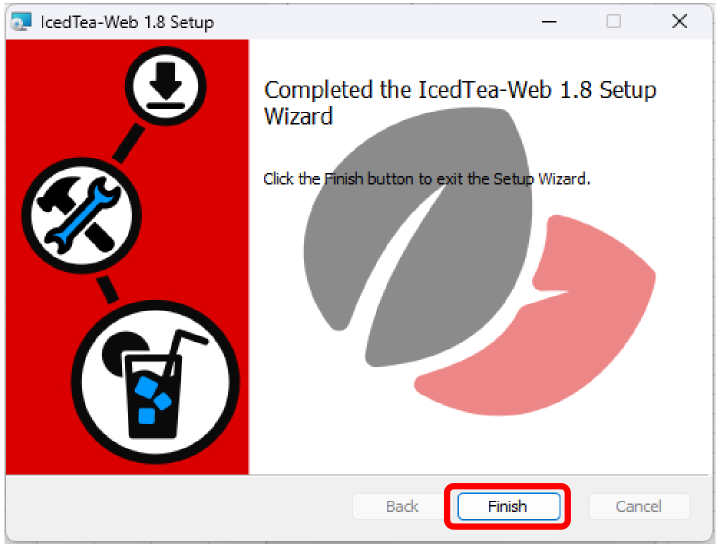
⑮「Next」をクリックする。



⑯「Install」をクリックする。

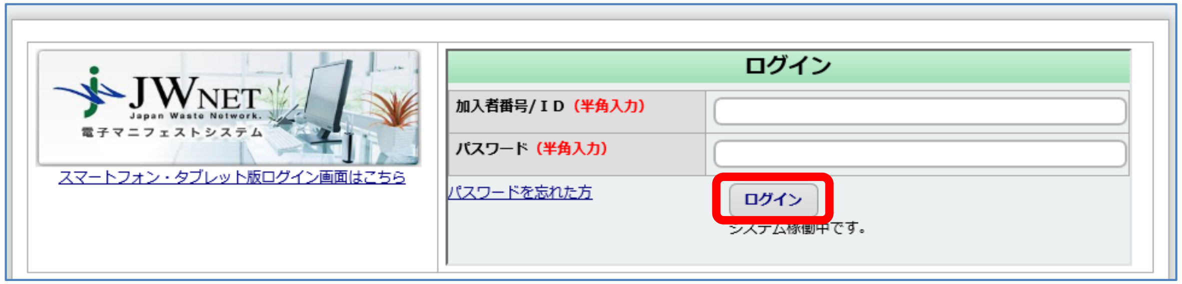


⑰「Finish」をクリックして、IcedTea-Webのインストールが完了です。



⑱Web方式にログイン

加入者番号／ＩＤ及びパスワードを入力しログインボタンをクリックする。

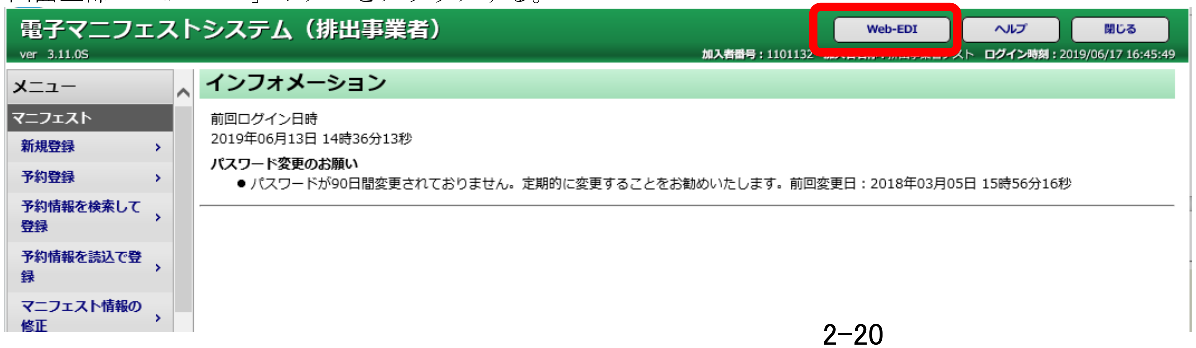


⑲メニューの選択

JWNETポータル画面のメニューにある「マニフェスト管理（登録・設定・通知）」、「行政報告」、「Web-EDI」のいずれかをクリックする。

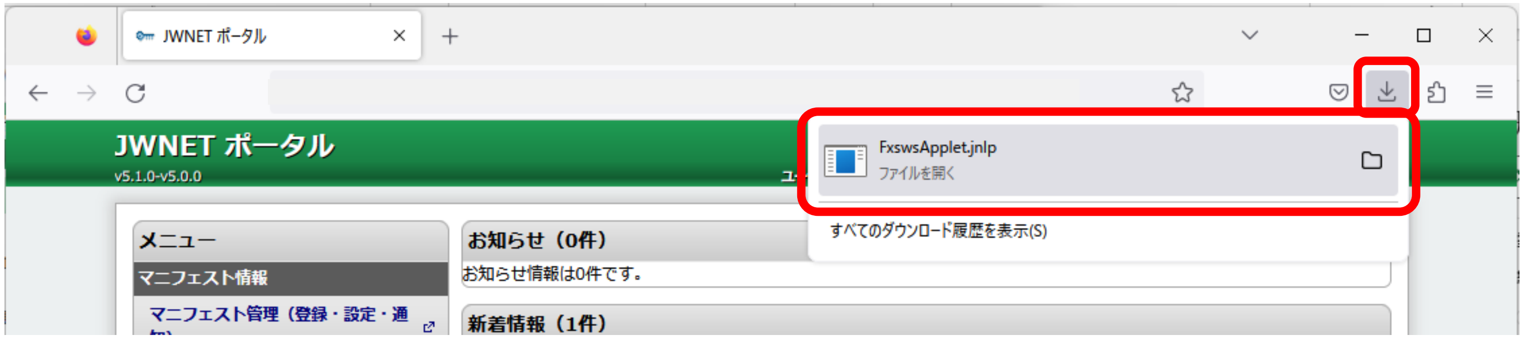
⑳Web-EDI機能の起動

画面上部の「Web-EDI」ボタンをクリックする。

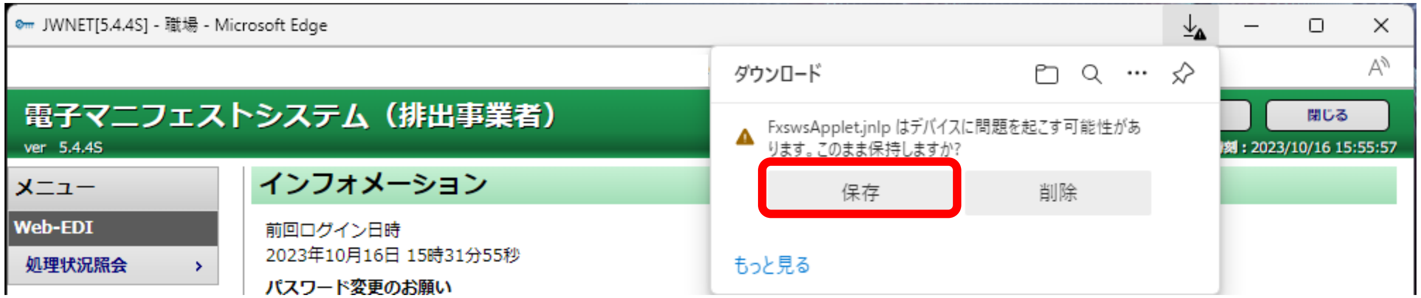


㉑Web-EDI機能の起動確認のポップアップメッセージについて
各ブラウザにより、以下のように挙動が異なります。

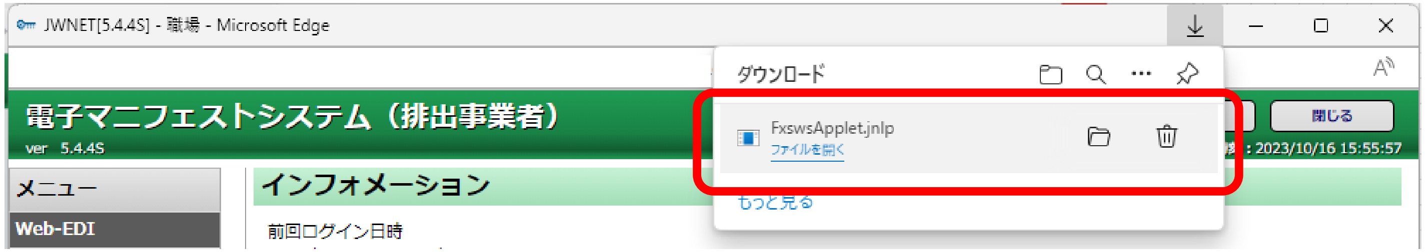
■Firefoxの場合
ダウンロードした.jnlpをクリックする。



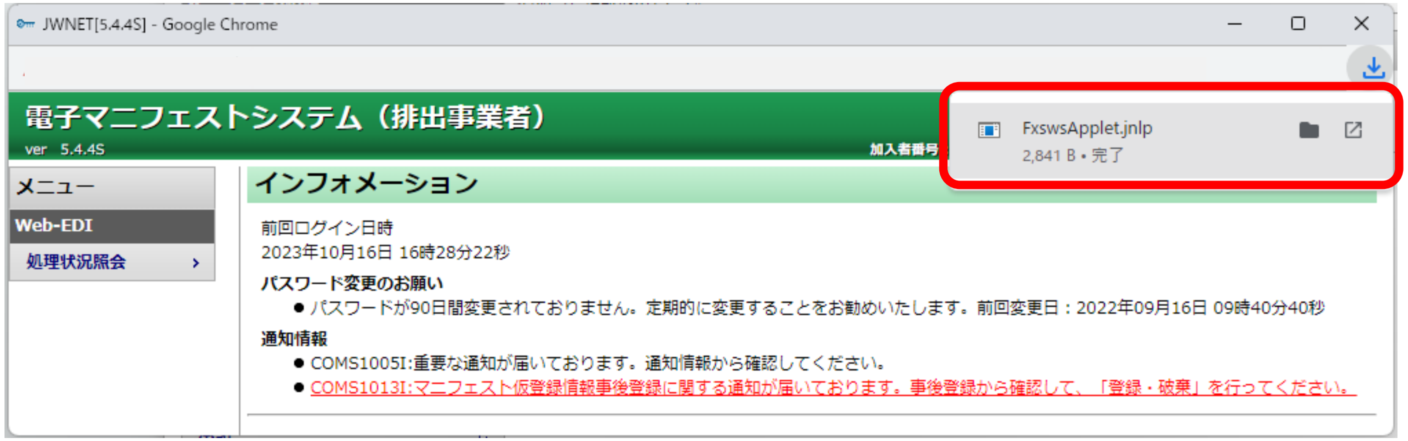
■Edgeの場合
「保存」をクリックする。



ダウンロードした.jnlpをクリックする。



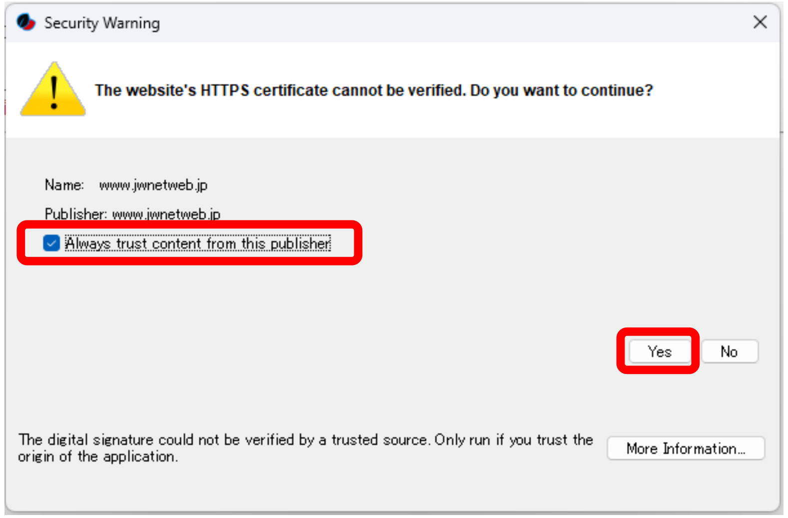
■Google Chromeの場合
　ダウンロードした.jnlpをクリックする。



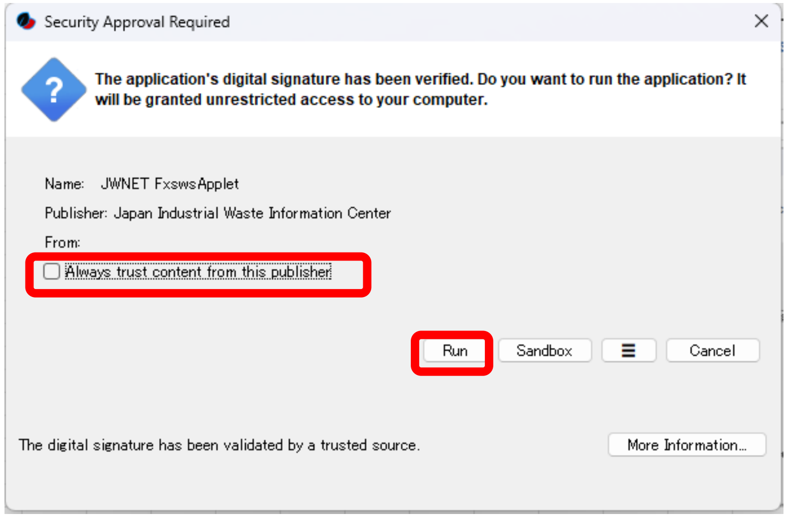
㉒各ブラウザにて、ダウンロードした.jnlpをクリック後、以下のようなIcedTea-Webの起動画面が表示されます。

㉓セキュリティ警告について

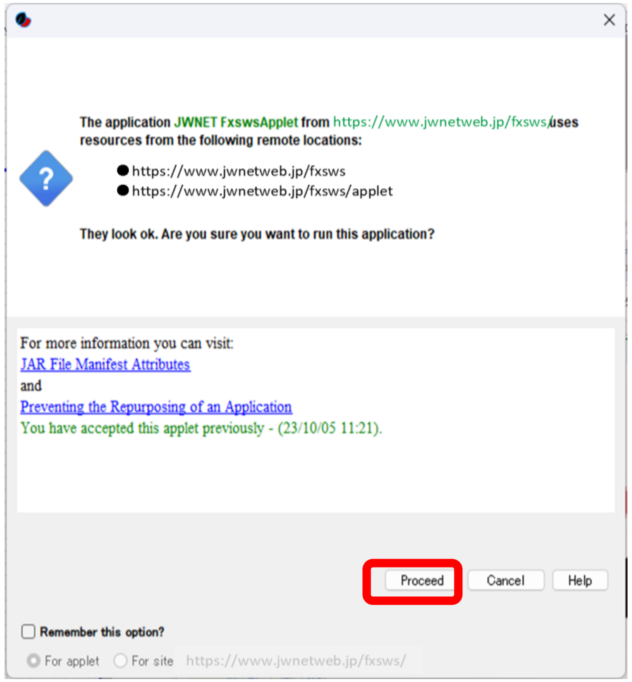
下記のセキュリティを警告をするポップアップが表示された場合は、「Always trust content from this publisher」にチェックを入れて、「Yes」ボタンをクリック



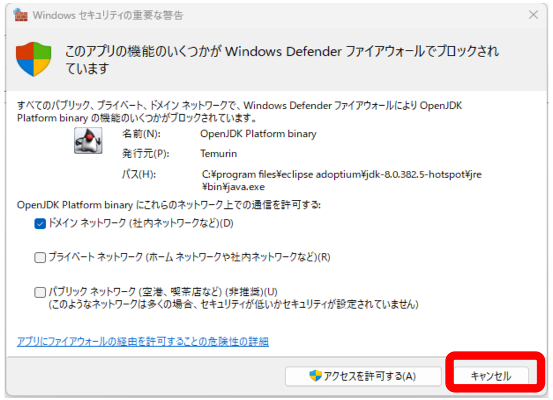
下記のセキュリティを警告をするポップアップが表示された場合は、「Always trust content from this publisher」のチェックを外して、「Run」ボタンをクリック



下記のセキュリティを警告をするポップアップが表示された場合は、「Proceed」ボタンをクリックする。

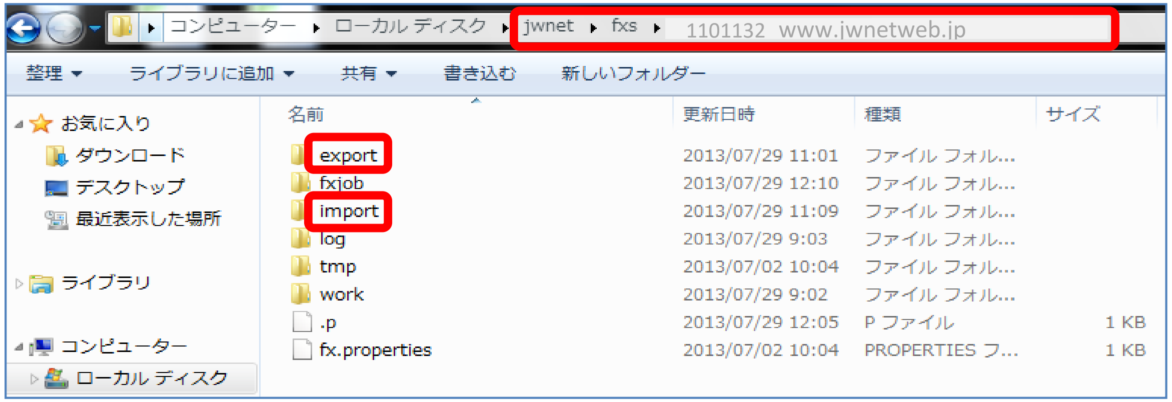


下記のセキュリティを警告をするポップアップが表示された場合は、「キャンセル」をクリックする。



㉔加入者の利用するPCの下記のディレクトリに、送信Box及び受信Boxが自動的に作成される。

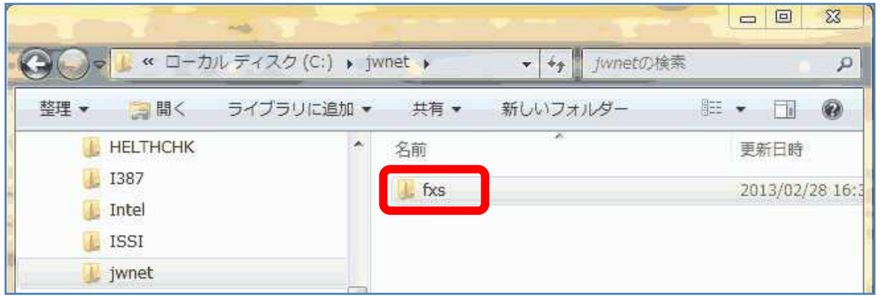
送信Boxのディレクトリ：c:¥jwnet¥fxs¥加入者番号_www.jwnetweb.jp¥export
受信Boxのディレクトリ：c:¥jwnet¥fxs¥加入者番号_www.jwnetweb.jp¥import



（２）送受信Boxの削除

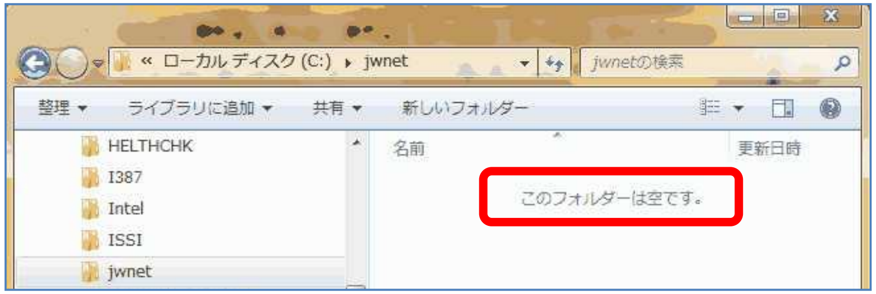
Web-EDI機能の利用を停止した加入者は、下記の手順に従い、送受信Boxを手動削除してください。

①エクスプローラーを起動し、コンピューター ＞ C:¥jwnetを開く。fxsを選択し削除する。



②「はい」をクリックする。

③ディレクトリーが削除されたことを確認する。



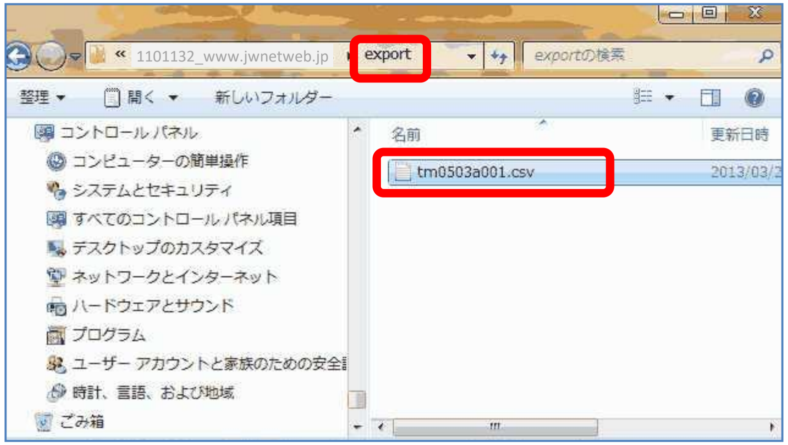
（３）Web-EDI機能の利用方法

※初回利用の前に、必ず「（１）送受信Boxの作成」の①～㉔を行ってください。

①Web方式にログインし、Web-EDI機能を起動します。

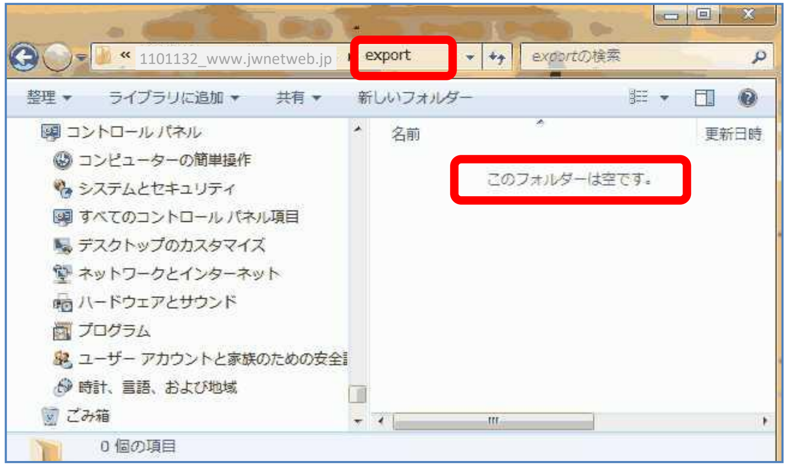
以下の画面が表示され、[接続中]「Web-EDIが利用できます」と表示されている間はWeb-EDI機能が利用できる状態です。

②要求ファイルを送信Boxに格納します。



③要求ファイルが自動的にJWセンターに送信されます。

送信は約30秒間隔で実施されます。
送信が行われると、要求ファイルは自動的に送信Boxから削除されます。



④要求ファイルの処理状況の確認は、EDI方式接続仕様書「7-3-2.Web-EDI機能処理状況の照会」を参照してください。

⑤JWセンターで要求ファイルの処理が完了した後、結果ファイルが自動的に受信Boxに受信されるので、内容を確認してください。

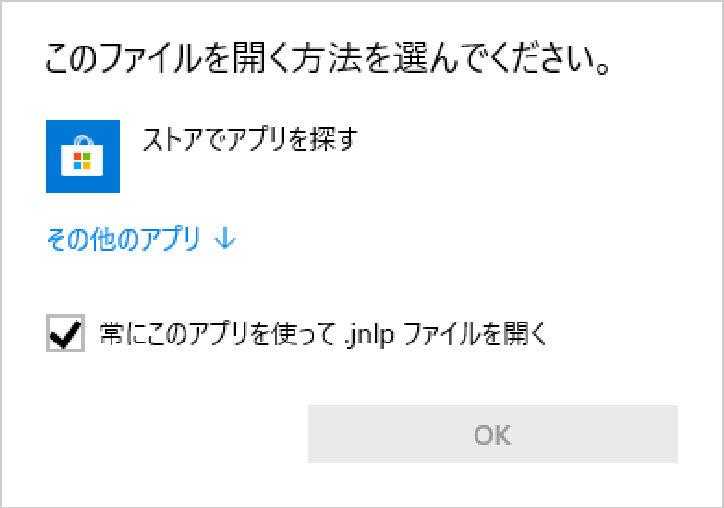
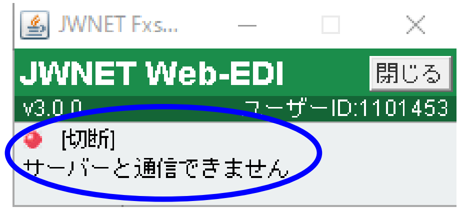
（４）利用環境

①Web-EDI機能の動作確認環境は、JWセンターホームページのWeb-EDI機能「利用環境」をご参照ください。

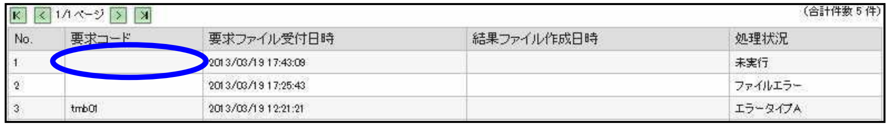
②Web-EDI機能は加入者サブ番号での利用はできません。

３．問題発生時の対応

Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能の利用に際し問題が発生した場合は、下記の内容を参考にご対応ください。

エラーメッセージ、現象	対応内容
「このファイルを開く方法を選んでください。」と表示される。  	「２．Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能の運用について」の（１）送受信Ｂｏｘの作成を参照し、Java8の最新バージョンを導入してください。
画面に赤色の丸が表示される。  	ネットワークが切断されています。 ネットワークを再接続してください。それでも解決しない場合は、 Ｗｅｂ方式を一旦ログアウトし、再度ログインしてください。

<table>
<tr><th>エラーメッセージ、現象</th><th>対応内容</th></tr>
<tr><td>Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能処理状況照会画面で、処理状況＝ファイルエラーになる。

1/1ページ （合計件数 4 件）<table><tr><th>No.</th><th>要求コード</th><th>要求ファイル受付日時</th><th>結果ファイル作成日時</th><th>処理状況</th></tr><tr><td>1</td><td></td><td>2013/03/19 17:25:43</td><td></td><td>ファイルエラー</td></tr><tr><td>2</td><td>tmb01</td><td>2013/03/19 12:21:21</td><td></td><td>エラータイプA</td></tr><tr><td>3</td><td>tmb01</td><td>2013/03/19 12:21:21</td><td>2013/03/19 12:28:27</td><td>エラータイプA</td></tr><tr><td>4</td><td>tmb01</td><td>2013/03/19 12:21:21</td><td></td><td>エラータイプB</td></tr></table></td><td>要求ファイルが下記条件件を満たしていることを確認してください。
・ファイル名が20byte以下であること
・ファイル名が半角英数字またはハイフン(-)のみであること
・ファイル名の拡張子が「.csv」（大文字でも可）であること
・ファイルサイズが500kbyte以下であること。
・ファイルサイズが0byteより大きいこと。
・ファイル名の最後が「$$」でないこと（拡張子も含めた最後の文字）
・ファイル名の最初が「.」でないこと
・ファイル名にスペース「 」を使用されていないこと</td></tr>
<tr><td>Ｗｅｂ－ＥＤＩ機能処理状況照会画面で、要求コードがブランクになる。

1/1ページ （合計件数 5 件）<table><tr><th>No.</th><th>要求コード</th><th>要求ファイル受付日時</th><th>結果ファイル作成日時</th><th>処理状況</th></tr><tr><td>1</td><td></td><td>2013/03/19 17:43:09</td><td></td><td>未実行</td></tr><tr><td>2</td><td></td><td>2013/03/19 17:25:43</td><td></td><td>ファイルエラー</td></tr><tr><td>3</td><td>tmb01</td><td>2013/03/19 12:21:21</td><td></td><td>エラータイプA</td></tr></table></td><td>処理状況＝未実行の場合、処理中です。しばらくお待ちください。
処理状況＝ファイルエラーの場合、上記を参照ください。
処理状況＝エラータイプ〇の場合、結果データのエラーコードを確認し、
ＥＤＩ方式接続仕様書「６．エラーチェック仕様」を参照してください。</td></tr>
</table>